

課題名 アナトミカルロッドとユニバーサルヘッドスクリューによる経皮的脊椎固定システムの開発・事業化

代表機関：株式会社eBioSpine

全研究開発期間：2023/10/11～2025/3/31

背景・目的：患者に最適な形状の脊椎インプラント（Class III）

- 外傷や腫瘍などで脊椎に不安定性が生じている場合に脊椎固定術が行われている。
- 現在のインプラントでは、ロッドの曲げ加工技術は医師の経験と勘に左右され、品質や臨床成績が担保されていない。

取り組み・成果：患者負担が軽減し低侵襲化及び安全性が向上

- 手術中の曲げ加工技術が不要であり、ロッドの機械的強度が向上することで再手術率が激減する。
- スクリューヘッドのコネクターを変えることで、外傷や腫瘍など小児から高齢者のあらゆる脊椎疾患に対して本製品のみで対応できる。
- 医師にとっては手術手技の統一化が図られ、医療機関は在庫管理が容易になる。

今後：国産医療機器市場の拡大と海外展開

- 国産医療機器市場の拡大とアジアを中心とした海外展開を図る。
- 高付加価値を有する新製品を順次開発していくことで企業価値を向上させる。

概要イメージ

